

学校教育目標 未来を創る	
「ことばの教育」重点目標	
1	自分の考えや意見をもち、分かりやすく表現することができる。
2	情報を確実に理解し、事実を正確に伝えることができるようになる。

【具体的な取組】

改善点	・校内掲示を活用し、言語環境を整える。 ・教科等の言語活動を見直す。 ・学校図書館を組織的・計画的に活用する。		
実施計画	学校生活全体での取組	各教科等における言語活動の充実	研修計画
	・校内の掲示版を活用し、季節に合った詩やことば遊び歌を紹介する。 ・生活朝会を活用し、前月の振り返り等を発表する場を設定する。 (月に1回程度) ・朝の会で、詩や名文等の音読をし、言葉やリズムの楽しさを味わう。 ・詩や物語、百人一首、説明文等の視写や暗唱を行う。 ・3年生以上は各教科等において、国語辞典を活用する。	【国語科】 ・語彙を豊かにするための言語活動を設定する。 ・「読むこと」の単元学習を、実生活の読書の充実につなげる。 【道徳科】 ・児童が道徳的価値に関わり、考え議論する場を工夫する。 ・書くことで自分自身を振り返らせ、発表し合う中で感じ方や考え方を明確にさせる。 【社会科】 ・調査結果を分析して自分の考えを説明する。 ・予想や仮説を立てて調べ、自分の考えを説明する。 【算数科】 ・計算の仕方を図などで表現し、表現の仕方を高める。 ・計算の仕方について筋道を立てて説明する。 ・文章問題の立式の根拠を図で説明する。 ・算数用語を適切に用いて説明する。 【理科】 ・グラフを基にした討論を通して、考察し協働して解決する。 ・科学的な言葉や概念を使って事象を解釈し、説明する場を設定する。 【体育科】 ・課題解決学習の中で、かかわる活動を意図的に仕組み、積極的にコミュニケーションを図る。 【総合的な学習の時間】 ・プレゼンテーション等の活動を仕組み、学習の成果を発表し合う場を設定する。 【外国語科・外国語活動】 ・通じ合う喜びを体験させるために、聞くこと・話すことの必然性のある場面を設定する。	【4月】 ・研究主題・研修計画について 【6月～12月】 ・全体授業研究
評価計画	【各種作品応募・行事への参加】 (6月)『ひろしま教育の日』メッセージ「くらしの文集」 (9月)『ことばの輝き』優秀作品コンクール、「読書感想文コンクール」		
	【百人一首の取り組みについて】 令和6年度は全学年、緑色の札を覚える。 R4(青), R5(桃), R6(黄), R7(緑), R8(橙)		